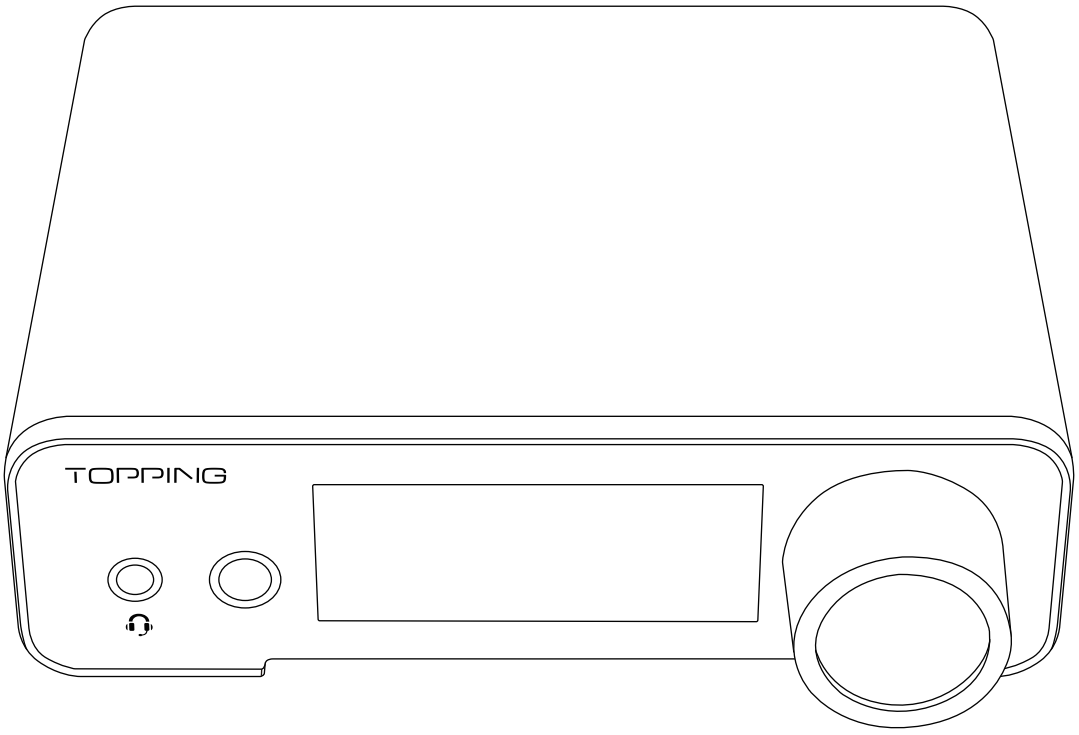
TOPPING

DX1II



Model: TP546
V1.2

取扱説明書

目次

1. 同梱物 3
2. 部品と名称 3
    2.1 フロントパネル 3
    2.2 表示説明 4
    2.3 リアパネル 5
    2.4 リモコン説明 5
        リモコン用電池の取り付け 5
        リモコンボタン説明 6
3. 接続 7
    3.1 入力ソースと電源の接続 7
    3.2 光デジタル出力接続 7
    3.3 パワーアンプまたはアクティブスピーカーの接続 8
    3.4 ヘッドホン / ヘッドセットの接続 8
4. 操作説明 9
    4.1 電源オン / スタンバイ 9
    4.2 音量設定 9
    4.3 入力選択切替 10
    4.4 出力選択切替 11
    4.5 ヘッドホンゲイン設定 11
    4.6 Line Out出力と光デジタル出力を0 dBに固定する方法 11
5. 設定メニュー 12
    メニューへの入り方と設定変更 12
    5.1 自動待機 12
    5.2 画面の明るさ 12
    5.3 自動消灯までの時間 13
    5.4 常時表示 13
    5.5 リモコン 13
    5.6 OPT入力モード 13
    5.7 LO / OPT 0 dB固定 13
    5.8 出力チャンネル設定 14
    5.9 PEQを適用する出力 14
    5.10 PCMフィルター設定 14
    5.11 PEQ選択 14
    5.12 ヘッドホンゲイン 15
    5.13 LO / HP チャネルバランス 15
    5.14 OPT チャネルバランス 15
    5.15 音量連動 15
    5.16 マイク音量 15

5.17 マイクスイッチ 16
6. TOPPING Home WEB コントロールセンター 16
7. 工場出荷時設定への初期化（ファクトリーリセット） 16
7.1 すべての設定を初期化（PEQ設定を除く） 16
7.2 PEQ設定のみを初期化 16
7.3 TOPPING Home WEBで初期化する 17
8. ファームウェアアップデート 17
9. ご注意 17
10. よくある質問と対処方法 17
11. 製品の基本仕様 17
12. 対応できるスペック 18
13. パラメータ 18

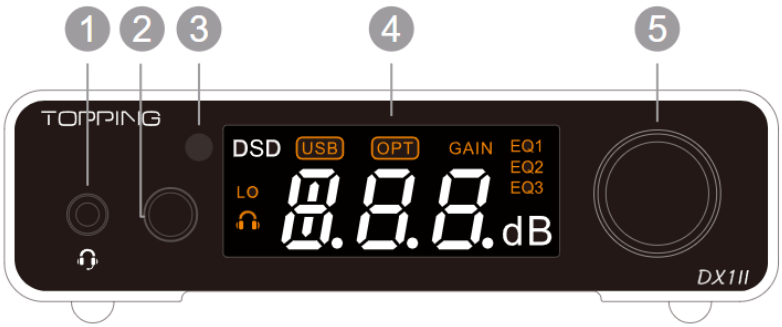
1. 同梱物

DX1 II	x1
RC15C リモコン	x1
USB A-C ケーブル	x1
USB C-C ケーブル	x1
製品情報カード	x1

Windowsドライバーのダウンロード：https://www.toppingaudio.com/supports?search=DX1+II&tab=drivers-software

2. 部品と名称

2.1 フロントパネル



1. **3.5mm ヘッドホン / ヘッドセット端子**
   3.5 mm TRRS端子を搭載し、2.5 Vのバイアス電圧を供給。ヘッドホンまたはCTIA規格のヘッドセットを接続できます。
2. **4.4mm バランスヘッドホン端子**
3. **リモコン受光部**
4. **ディスプレイ**
5. **多機能ノブ**
   - 回す：音量を調整します。

- 短押し：初期設定では入力を切り替えます。TOPPING Home WEBで変更できます。
- ダブルクリック：初期設定では出力を切り替えます。TOPPING Home WEBで変更できます。

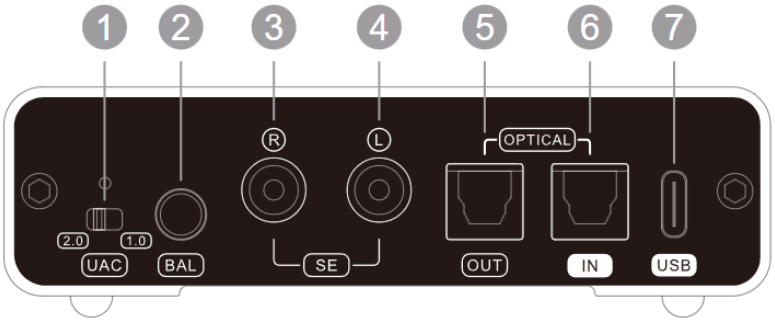
2.2 表示説明



1. **DSD フォーマット表示**
   点灯時は DSD 再生中、消灯時は PCM 再生中を示します。
2. **入力チャンネル表示**
   現在の入力チャンネルを表示します。入力が未接続、または有効な信号を検出していない場合は、アイコンが点滅します。
3. **ヘッドホンアンプ ゲイン表示**
   高ゲインモード時に点灯し、低ゲインモード時に消灯します。
4. **PEQ 表示**
   - **EQ1～EQ3のいずれかが点灯：**本機に保存された3種類のPEQ設定のうち、対応する設定を使用しています。
   - **EQ1、EQ2、EQ3が同時に点灯：**クラウドのEQを使用中、またはAutoEQで自動生成したEQを試聴中です。
   - **EQ表示が点滅：**再生中の音声のサンプリングレートがPEQの対応範囲を超えています。
5. **出力チャンネル表示**
   - LO：Line Out出力（リアパネルの4.4mm出力とRCA出力）
   - ヘッドホンアイコン：ヘッドホン出力（フロントパネルの3.5mm ヘッドフォン端子と4.4mm ヘッドフォン端子）
   - LOとヘッドホンアイコンが同時点灯：Line Outとヘッドホンを同時出力

   光デジタル出力には専用の表示ランプがなく、初期設定では有効です。無効にする場合は、TOPPING Home WEBで設定してください。
6. **サンプリングレート / 音量表示**
   - 通常時：初期設定では音量を常時表示します。
   - サンプリングレート切替時：現在のサンプリングレートを一時的に表示します。
   - ミュート時：「---」と元の表示数値が交互に点滅します
   - 設定メニューで、常時表示する内容をサンプリングレートに変更できます。

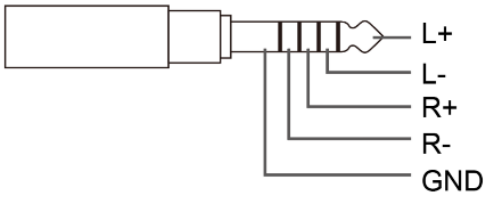
2.3 リアパネル



1. **UAC設定**
   本機のUSB入力はUSB Audio Class 1.0 / 2.0に対応しており、接続機器に応じて切り替え可能です。通常はUAC2.0を使用してください。PlayStationなどUAC1.0のみに対応する機器に接続する場合は、UAC1.0に切り替えてください。
   ご注意：設定変更後はUSBケーブルを抜き差ししないと有効になりません。
2. **4.4mm ステレオバランス出力**
   ご注意：この端子はLine Out出力専用です。ヘッドホンを接続しないでください。
3. **RCAシングルエンド出力（右）**
4. **RCAシングルエンド出力（左）**
5. **SPDIF光出力**
6. **SPDIF光入力**
7. **USB入力 & 電源入力**

DX1 IIのUSB端子は、音声データの伝送と電源供給の両方に使用します。十分な給電能力があるUSB機器には、付属のUSBケーブルで直接接続できます。スマートフォンやNintendo Switchなど、給電能力が不足する機器には、USB分岐ケーブル（別売）を使用し、DX1 IIを入力ソースと外部電源にそれぞれ接続してください。

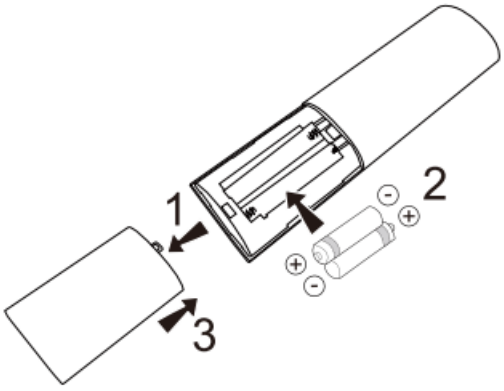
4.4mm ステレオバランス出力



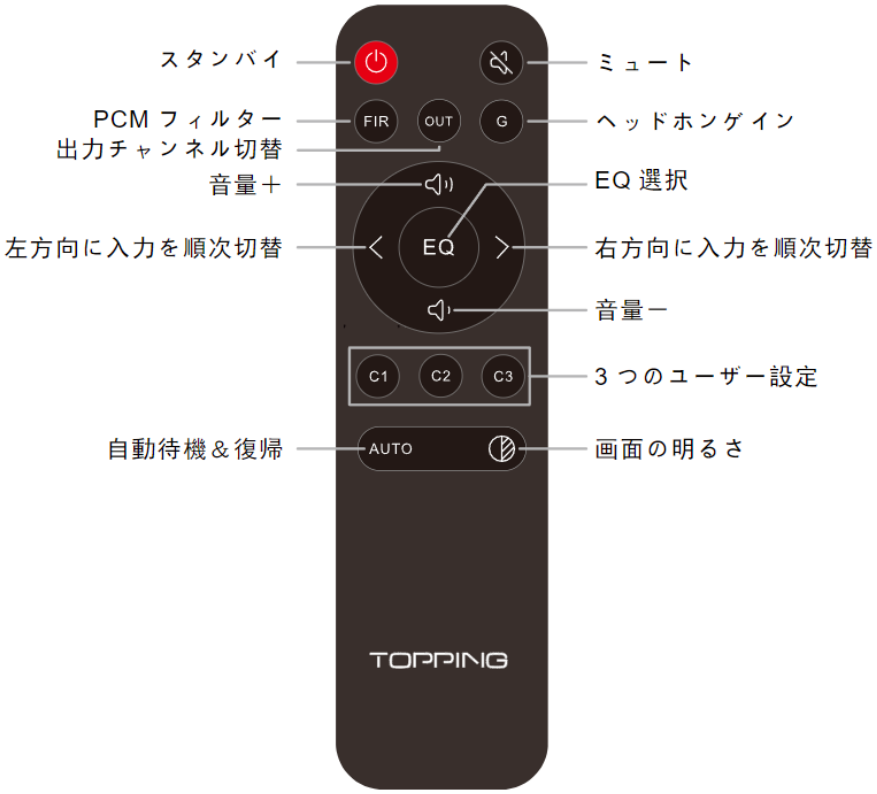
2.4 リモコン説明

リモコン用電池の取り付け

ご使用前に単4形乾電池2本を取り付けてください（別売）。



リモコンボタン説明



1. C1 / C2 / C3 ボタン

操作：C1/C2/C3ボタンを3秒長押しすると現在の設定を保存します。短押しすると対応する設定を呼び出せます。

保存される設定：現在の入力、出力、音量、EQなどの設定を保存します。クラウドのPEQ設定とAutoEQの試聴中の設定、およびマイク音量は、シーンに保存されません。

保存項目：入力選択、OPT入力モード、出力選択、LO / OPTの0 dB固定設定、アナログ出力とOPTの音量、LO / HPのチャネルバランス、OPTのチャネルバランス、音量連動の状態、音量調整の対象、GAIN、PCMフィルター、本機に保存されたPEQ設定、PEQを適用する出力。

機能説明：使用シーンごとの設定をC1、C2、C3に保存できます。たとえば、ヘッドホン用とスピーカー用の設定をそれぞれ保存しておけば、機器を切り替える際に対応するボタンを押すだけで一括呼び出しでき、個別に変更する必要がありません。

DX1 IIの設定	シーン1：ヘッドホン使用時	シーン2：スピーカー使用時
入力チャンネル	USB入力	光デジタル入力
出力チャンネル	ヘッドホン出力	Line Out出力
音量	-30dB	-20dB
EQ選択	EQ1	オフ

2. AUTO ボタン

詳細は「5. 設定メニュー - 自動待機」をご参照ください。

ミュート / ＜ / ＞ボタン

これらのボタンの機能は、TOPPING Home WEBで変更できます。

リモコンのミュートボタン

- 本機をミュート（初期設定）
- 入力に応じて自動切替：USB入力時は再生 / 一時停止、OPT入力時は本機をミュートします。

リモコンの左 / 右ボタン

- 入力切替（初期設定）

• 前の曲 / 次の曲：USB入力時のみ有効です。OPT入力時は操作できません。

3. 接続

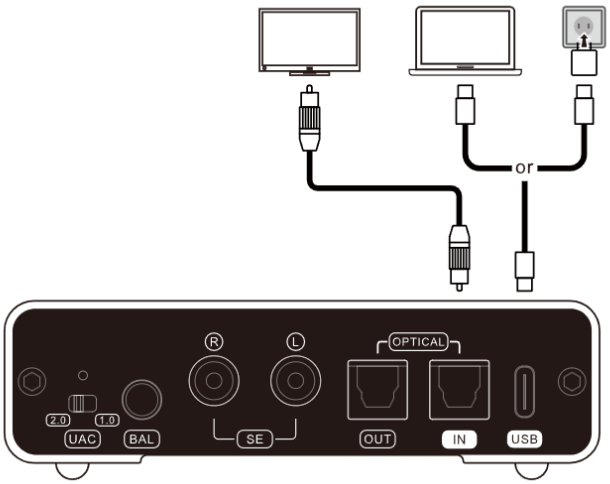
3.1 入力ソースと電源の接続

USB入力：
DX1 IIのUSB端子は、音声データの伝送と電源供給の両方に使用します。十分な給電能力があるUSB機器には、付属のUSBケーブルで直接接続できます。スマートフォンやNintendo Switchなど、給電能力が不足する機器には、USB分岐ケーブル（別売）を使用し、DX1 IIを入力ソースと外部電源にそれぞれ接続してください。

光デジタル(Optical)入力：
光デジタル信号(Optical)を接続するための入力です。この入力を使用する場合は、USB端子からDC 5V電源を接続して本機に給電する必要があります。

音が出ない、音が途切れる、正常に再生できない場合は、「5. 設定メニュー - OPT入力モード」で光デジタル入力の互換性モードを切り替えてください。モード1とモード2は、異なる光デジタル信号ソースに対応するためのものです。正常に再生できる方を選択してください。

ご注意：モード1はDoP64に対応しません。

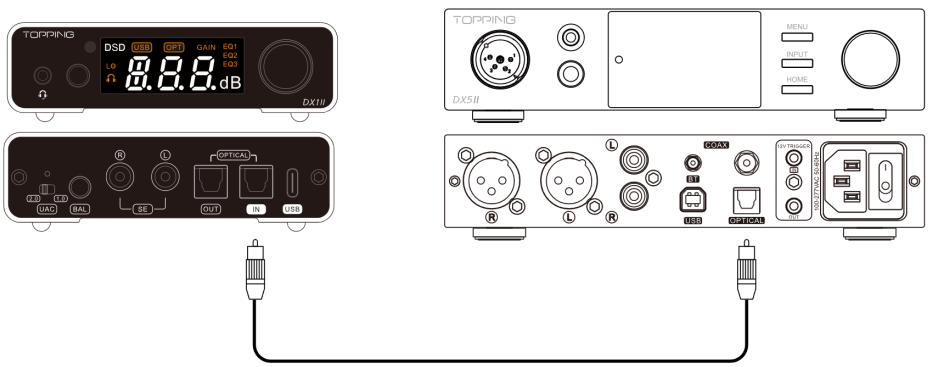


3.2 光デジタル出力接続

DX1 IIは光デジタル出力機能(Optical)も備えており、DACなどの機器を接続できます。

ご注意：光デジタル出力の音量は初期設定で最大に固定され、調整できません。接続または再生する前に、接続先機器の音量を小さくしてください。

光デジタル出力の音量を調整する場合は、「5. 設定メニュー」で音量連動をU-Oに設定してください。TOPPING Home WEBからも設定でき、画面を見ながら簡単に操作できます。

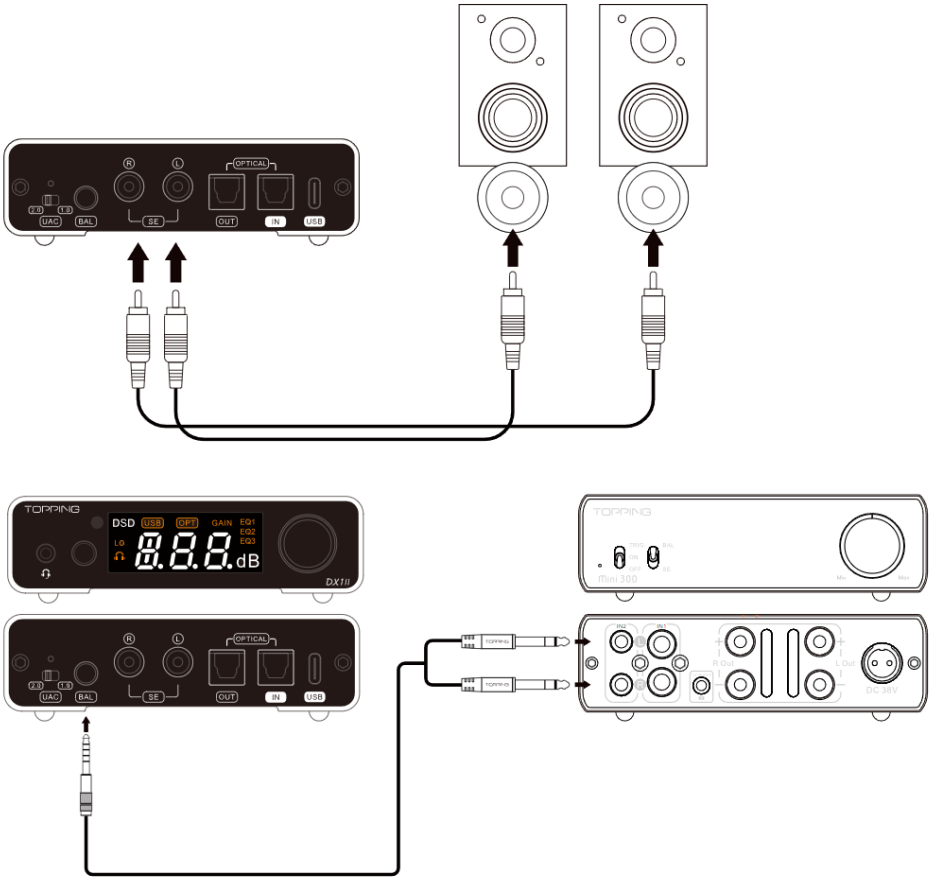


3.3 パワーアンプまたはアクティブスピーカーの接続

DX1 IIのRCAシングルエンド出力または4.4mmステレオバランス出力に接続できます。

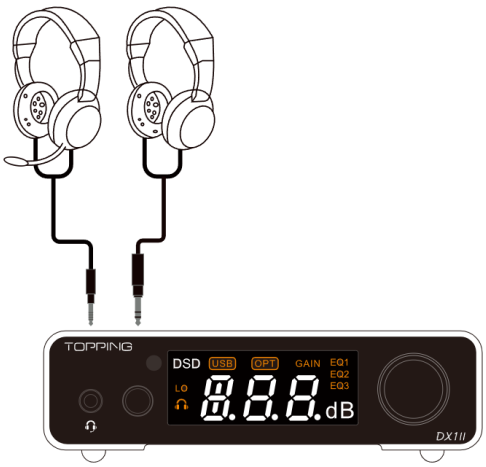
機器保護のため、必ず接続前にパワーアンプまたはアクティブスピーカーの電源を切ってください。

ご注意：リアパネルの4.4mm端子はLine Out出力専用です。ヘッドホンを接続しないでください。



3.4 ヘッドホン / ヘッドセットの接続

3.5 mmおよび4.4 mmのヘッドホン端子を搭載。3.5 mm端子はCTIA規格対応のヘッドセットに対応し、マイク入力は最大192 kHzのサンプリングレートに対応します。



ヘッドセット / マイクの接続：

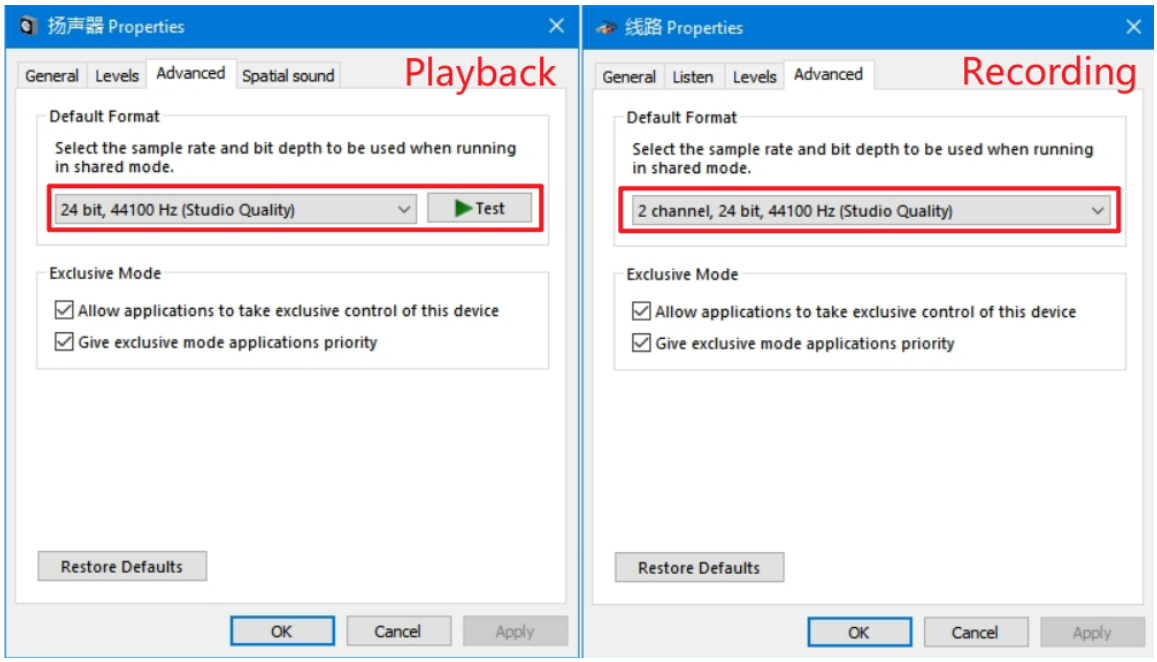
- 4極CTIA規格のヘッドセットまたは単体マイク：3.5-Mic端子に直接接続できます。
- 2極または3極の単体マイク：通常は直接使用できません。CTIA TRRSに変換するマイク用変換ケーブルを使用してください。

• 単体マイクと3.5mmヘッドホンを同時に接続する場合：ヘッドセット用分岐アダプターを使用してください。

マイクによって、端子の配線、出力レベル、必要な電源が異なります。使用前にマイクのメーカーに仕様をご確認ください。実際に接続して、正常に動作することを確認してください。

ご注意：

1. マイク音量は、TOPPING Homeまたは本機の設定メニューで調整できます。パソコンのシステム録音音量およびTOPPINGドライバーの設定には影響されません。マイクの音声が異常な場合は、マイク音量を下げてみてください。
2. OPT（光デジタル）入力時は、マイク機能を使用できません。
3. マイク入力は最大 192 kHz のサンプリングレートに対応しています。
4. パソコンのシステム音声設定で、DX1 II の録音と再生のサンプリングレートを同じ値に設定してください。



4. 操作説明

4.1 電源オン / スタンバイ

1. **電源オン**
   通電すると自動的に動作状態になります。
2. **スタンバイ**
   動作中に前面パネルのノブを長押しするとスタンバイに入ります。スタンバイ中に短押しすると復帰します。
   リモコンのスタンバイボタンを短押ししても、スタンバイの入/切ができます。





ご注意：DX1 IIは自動待機に対応しています。待機時間と機能の詳細は、「5. 設定メニュー - 自動待機」をご参照ください。

4.2 音量設定

音量連動

DX1 IIは、アナログ出力（LO / ヘッドホン）と光デジタル出力の音量を個別に調整できます。

初期設定ではアナログ出力の音量を調整します。TOPPING Home WEBで、音量調整の対象をアナログ出力または光デジタル出力に変更できます。

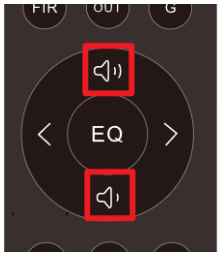
音量連動を有効にすると、アナログ出力と光デジタル出力の音量を同時に調整できます。現在の音量差を保ったまま、両方の音量が同時に増減します。連動中は、音量が大きい方の出力の音量値を画面に表示します。

1. **ミュート**
   リモコンのミュートボタンを短押しすると、現在の音量調整の対象（初期設定ではアナログ出力）をミュート / ミュート解除できます。音量連動が有効な場合は、アナログ出力とOPTを同時にミュート / ミュート解除します。ミュート中は、画面に「---」と元の音量値が交互に点滅表示されます。



1. **音量調整**
   本体ノブ、またはリモコンの音量＋ / －ボタンで音量を調整できます。音量＋ / －ボタンを長押しすると素早く調整されます。聴力保護のため、十分注意して操作してください。





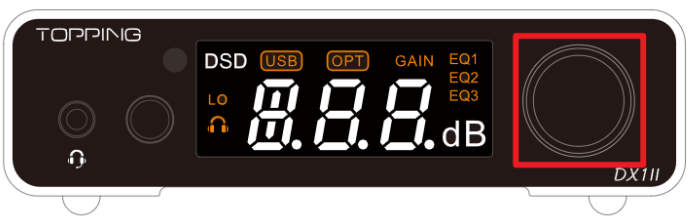
ご注意：

- 0 dB固定（F-O）モードでは、LOとOPTの音量は0 dBに固定され、調整できません。ヘッドホン出力は使用できません。
- 初期設定ではアナログ出力の音量を調整します。TOPPING Home WEBで音量調整の対象を光デジタル出力に変更するか、音量連動を有効にできます。

4.3 入力選択切替

電源オン時にノブを短押しするか、リモコンの左 / 右ボタンを押すと、入力チャンネル（USB / 光）を順番に切り替えられます

ノブの短押しとリモコンの左 / 右ボタンは、初期設定では入力切替に割り当てられています。TOPPING Home WEBで変更できます。





4.4 出力選択切替

電源オン時にノブをダブルクリックするか、リモコンの「OUT」ボタンを押すと、出力チャンネルを順番に切り替えられます。

出力の組み合わせが複数あるため、TOPPING Home WEBの循環切替範囲で、よく使う組み合わせをあらかじめ選択しておくと便利です。ノブやリモコンで切り替えるときは、選択した組み合わせだけを順番に切り替えられます。

初期設定の循環切替範囲：LO + OPT、HP + OPT、LO + HP + OPT。

- **LO**：Line Out出力（リアパネルの4.4mm出力とRCA出力）
- HP：ヘッドホン出力（フロントパネルの3.5mmヘッドホン端子と4.4mmヘッドホン端子）
- OPT：光デジタル出力
- LO + HP：Line Out出力 + ヘッドホン出力
- LO + OPT：Line Out出力 + 光デジタル出力
- HP + OPT：ヘッドホン出力 + 光デジタル出力
- LO + HP + OPT：Line Out出力 + ヘッドホン出力 + 光デジタル出力



4.5 ヘッドホンゲイン設定

リモコンのGボタン、または前面パネルのノブでヘッドホンゲインを切り替えられます。TOPPING Home WEBで、カスタムボタンにゲイン切替を割り当てることもできます。

前面パネルのノブで操作する場合は、ノブを押したまま1.5秒以内に回すと、高ゲインと低ゲインを切り替えられます。

画面上のGAINアイコンが点灯している場合は高ゲイン、消灯している場合は低ゲインです。





4.6 Line Out出力と光デジタル出力を0 dBに固定する方法

Line Out出力または光デジタル出力の接続先機器で音量を調整できる場合は、0 dB固定モードを使用できます。このモードでは、Line Out出力と光デジタル出力は0 dBの固定レベルで出力され、本機では音量を調整できません。ヘッドホン出力も自動的に無効になります。大きな音が出ないよう、有効にする前に接続先機器の音量を小さくしてください。

設定方法：「5. 設定メニュー」で「LO / OPT 0 dB固定」をF-Oに設定し、保存して終了してください。F-Cに戻すと、前回のF-Oモードの出力の組み合わせ、音量、音量連動の状態、音量調整の対象に戻ります。

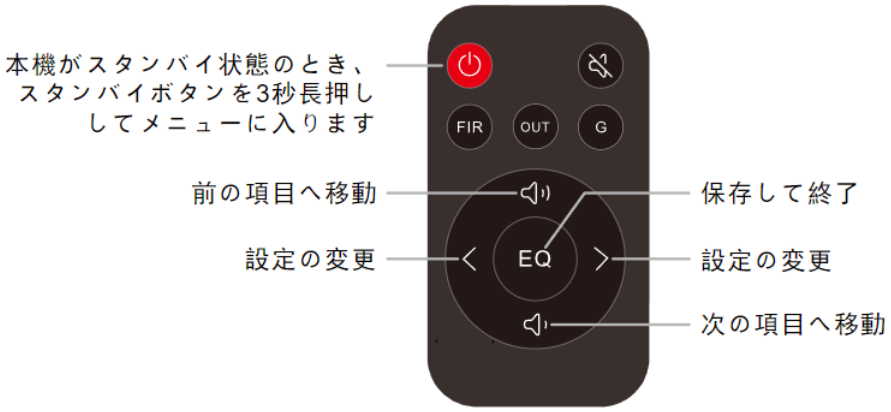
5. 設定メニュー

メニューへの入り方と設定変更

前面パネルのノブを使用する場合

- メニューに入る：本機がスタンバイ状態のとき、ノブを3秒長押し
- 設定項目の切替：ノブを回す
- 設定の変更：ノブを押す
- 保存して終了：ノブを長押し

リモコンを使用する場合



5.1 自動待機



- A01：1分（初期設定）
- A05：5分
- A10：10分
- AOF：自動待機を無効

入力信号の状態に応じて、自動的に起動またはスタンバイに入ります。入力信号を検出すると自動的に起動し、信号がない状態が設定した時間続くと、スタンバイに入ります。

自動待機に入るかどうかは、接続先の再生機器がデジタル信号の出力を停止するかによって異なります。パソコンは再生を一時停止しても信号を出力し続けることが多いため、自動待機に入りません。パソコンをシャットダウンまたはスタンバイにすると、本機も自動待機に入り、信号が戻ると自動的に起動します。一時停止時に信号の出力を停止するプレーヤーでは、再生すると自動起動し、一時停止すると自動待機に入ります。

5.2 画面の明るさ



- L-1：低
- L-2：中（初期設定）
- L-3：高

5.3 自動消灯までの時間



- d05：5秒
- d10：10秒（初期設定）
- d30：30秒
- d60：60秒
- dOF：自動消灯しない

設定した時間操作がないと、画面が完全に消灯します。ノブやリモコンを操作するか、本機の設定を変更すると、再点灯します。

5.4 常時表示



- d-U：音量を常時表示します。サンプリングレート切替時は、現在のサンプリングレートを一時的に表示します（初期設定）。
- d-S：サンプリングレートを常時表示します。音量調整時は、現在の音量を一時的に表示します。

5.5 リモコン



- r-O：有効（初期設定）
- r-C：無効

5.6 OPT入力モード



- OPT d-1：モード1（初期設定）
- OPT d-2：モード2

この設定は、異なる光デジタル信号ソースに対応するため、光入力の互換性を向上させるものです。2つのモードは代替関係にあり、正常に動作する方を選択してください。

ご注意：モード1はDoP64に対応しません。

5.7 LO / OPT 0 dB固定



- F-C：LOとOPTの出力音量を調整可能（初期設定）
- F-O：0 dB固定モード。LO / OPTは0 dB固定、HPは使用不可

5.8 出力チャンネル設定



L / H / PはそれぞれLine Out出力、ヘッドホン出力、光デジタル出力を示し、表示位置は固定されています。「-」は、その出力が無効であることを示します。

- L--：Line Out出力（リアパネルの4.4mm出力とRCA出力）
- -H-：ヘッドホン出力（フロントパネルの3.5mmヘッドホン端子と4.4mmヘッドホン端子）
- --P：光デジタル出力
- LH-：Line Out出力 + ヘッドホン出力
- L-P：Line Out出力 + 光デジタル出力
- -HP：ヘッドホン出力 + 光デジタル出力
- LHP：Line Out出力 + ヘッドホン出力 + 光デジタル出力（初期設定）

5.9 PEQを適用する出力



- E-A：アナログ（LO / HP）
- E-P：デジタル（OPT）
- E-b：アナログ + デジタル（初期設定）

選択した出力に同じPEQ設定を適用します。アナログ出力とデジタル出力で、別々のPEQ設定を保存することはできません。

5.10 PCMフィルター設定



- F-1：Minimum Phase
- F-2：Linear Phase Fast Roll-Off Apodizing
- F-3：Linear Phase Fast Roll-Off
- F-4：Linear Phase Fast Roll-Off Low Ripple
- F-5：Linear Phase Slow Roll-Off（初期設定）
- F-6：Minimum Phase Fast Roll-Off
- F-7：Minimum Phase Slow Roll-Off
- F-8：Minimum Phase Slow Roll-Off Low Dispersion

5.11 PEQ選択



- EQ0：PEQ無効（初期設定）
- EQ1：EQ1を有効
- EQ2：EQ2を有効

• EQ3：EQ3を有効

EQ1〜EQ3は、本機に保存された3種類のPEQ設定です。PEQのパラメータはTOPPING Home WEBで調整できます。

PEQの対応仕様は「12. 対応できるスペック」をご参照ください。

5.12 ヘッドホンゲイン



• GAIN OFF：低ゲイン（初期設定）
• GAIN ON：高ゲイン

5.13 LO / HP チャネルバランス



L9.5 dB 〜 C 〜 R9.5 dB（初期設定：C、左右均等）

LOの0 dB固定モードでも調整できます。

5.14 OPT チャネルバランス



L9.5 dB 〜 C 〜 R9.5 dB（初期設定：C、左右均等）

0 dB固定モードでも調整できます。

5.15 音量連動



• U-C：無効（初期設定）
• U-O：有効

DX1 IIは、アナログ出力（LO / ヘッドホン）と光デジタル出力の音量を個別に調整できます。

初期設定ではアナログ出力の音量を調整します。TOPPING Home WEBで、音量調整の対象をアナログ出力または光デジタル出力に変更できます。

音量連動を有効にすると、アナログ出力と光デジタル出力の音量を同時に調整できます。現在の音量差を保ったまま、両方の音量が同時に増減します。連動中は、音量が大きい方の出力の音量値を画面に表示します。

5.16 マイク音量



初期設定：30。調整範囲：0〜100。

5.17 マイクスイッチ



- mON：マイク有効（初期設定）
- mOF：マイク無効

6. TOPPING Home WEB コントロールセンター

本機をUSBでパソコンに接続し、WebHIDに対応したブラウザー（Chrome、Edgeなど）でTOPPING Home WEBを開いてください：https://home.toppingaudio.com

本機で設定できるすべての機能に加え、TOPPING Home WEBでは以下の機能を使用できます。

- ボタン機能の変更：リモコンの左 / 右ボタン、ミュートボタン、ノブの短押しとダブルクリックに機能を割り当てられます。
- 循環切替範囲の設定：出力選択、PEQを適用する出力、PCMフィルター、PEQ選択、シーン呼び出しなどで、切り替える項目を選択できます。リモコンやノブでは、選択した項目だけを順番に切り替えられます。
- 音量調整の対象の設定：アナログ出力またはOPTを選択できます。
- PEQ設定：本機ではPEQの有効 / 無効と、本機に保存された設定の選択ができます。各パラメータはTOPPING Home WEBで調整してください。
- AutoEQ：ヘッドホン用のEQ設定を簡単に生成・適用できます。適用後にPEQのパラメータをさらに調整することもできます。
- コミュニティ機能：EQ設定を共有したり、他のユーザーが共有した設定を適用したりできます。
- ファームウェアアップデート：本機のファームウェアをオンラインで更新できます。

7. 工場出荷時設定への初期化（ファクトリーリセット）

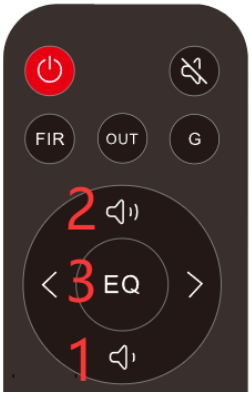
7.1 すべての設定を初期化（PEQ設定を除く）

スタンバイ状態で、リモコンの音量ー、音量＋、ミュートボタンを順に押すと、工場出荷時設定に本体が初期化されます（PEQ設定は含まれません）。



7.2 PEQ設定のみを初期化

スタンバイ状態で、リモコンの音量ー、音量＋、EQボタンを順に押すと、EQデータのみ工場出荷時設定に初期化されます。



7.3 TOPPING Home WEBで初期化する

TOPPING Home WEBの詳細設定画面で、工場出荷時設定への初期化を実行できます。

8. ファームウェアアップデート

最新のファームウェア、バージョン確認方法、および更新手順については、以下のリンク又は販売代理店の公式ホームページをご参照ください。

https://www.toppingaudio.com/supports?search=DX1+II&tab=firmware

9. ご注意

1. 高温多湿の場所、雨のかかる場所、強い衝撃を受ける場所に本機を置かないでください。
2. 本体を分解しないでください。修理が必要な場合は、専門の修理担当者にご依頼ください。
3. 本機は屋内専用です。
4. 製品の故障により直接または間接的に生じた損失・損害について、当社は責任を負いません。
5. 製品改良のため、仕様および機能は予告なく変更される場合があります。

10. よくある質問と対処方法

ご使用中に問題が発生した場合は、以下のリンクから対応する解決方法をご確認いただけます。

https://www.toppingaudio.com/supports?search=DX1+II&tab=faq

問題が解決しない場合は、service@toppingaudio.com または販売代理店にお問い合わせください。

11. 製品の基本仕様

外形寸法	10.0cm × 10.0cm × 3.2cm（突起部含む）
本体重量	275g
電源	USB Type-C端子（DC 5V / 1.0A）
デジタル入力端子	USB / OPT（S/PDIF）
アナログ入力端子	3.5mmヘッドセット端子（2.5Vバイアス電源対応、ヘッドホン端子兼用）
デジタル出力端子	OPT（S/PDIF）
ライン出力端子	4.4mmバランス端子 / RCAアンバランス端子
ヘッドホン出力端子	3.5mmアンバランスヘッドホン端子 4.4mmバランスヘッドホン端子

表示	LED
UAC	1.0 / 2.0（スイッチで切替）
待機時消費電力	0.8W（代表値）
動作時消費電力	2.5W（代表値）

12. 対応できるスペック

USB IN UAC 2.0	PCM	44.1kHz-384kHz/16bit-32bit
	DSD	DSD64-DSD256 (Native), DSD64-DSD128 (Dop)
	PEQ	44.1kHz-192kHz/16bit-32bit
OPT IN	PCM	44.1kHz-192kHz/16bit-24bit
	DSD	DSD64 (DoP)（OPT d-2モードのみ）
	PEQ	44.1kHz-192kHz/16bit-24bit
OPT OUT	PCM	44.1kHz-192kHz/16bit-24bit
	PEQ	44.1kHz-192kHz/16bit-24bit

USB IN（UAC 1.0）の対応仕様

- PCM：44.1kHz-48kHz/16bit-24bit
- DSD：非対応
- PEQ：44.1kHz-48kHz/16bit-24bit

13. パラメータ

DX1 IIパラメーターリスト（LineOut/USB In@96kHz）

	RCA SE	4.4mm BAL
THD+N @1kHz (A-wt)	<0.00009%	<0.00007%
THD @20-20kHz 90kBw	<0.0008%	<0.0005%
SNR @1kHz (A-wt)	125dB	128dB
ダイナミック・レンジ @1kHz (A-wt)	125dB	128dB
周波数応答	20Hz-20kHz(±0.1dB) 20Hz-40kHz(±0.3dB)	20Hz-20kHz(±0.1dB) 20Hz-40kHz(±0.3dB)
出力振幅	2.4Vrms @0dBFS	5.1Vrms @0dBFS
ノイズフロア @A-wt	<1.3uVrms	<2.0uVrms
クロストーク	-126dB @1kHz	-140dB @1kHz
チャネルバランス	0.3 dB	0.3 dB
出力インピーダンス	50Ω	100Ω
出力カップリング方式	DC	DC

注：上記のデータは、DC 5V条件下でTOPPING Laboratoryにて測定した結果です。

DX1 II ヘッドフォンAMPパラメーターリスト（USB In@96kHz）

	3.5mm ヘッドフォン端子	4.4mm ヘッドフォン端子
THD+N@1kHz (A-wt)	<0.0005% @Output=200mW(32Ω) <0.00015% @Output=22mW(300Ω)	<0.0010% @Output=850mW (32Ω) <0.0001% @Output=90mW (300Ω)
THD @20-20kHz (45kBW)	<0.0020% @Output=200mW(32Ω) <0.0003% @Output=22mW(300Ω)	<0.0050% @Output=850mW(32Ω) <0.0003% @Output=90mW (300Ω)
SNR @MAX OUT 1kHz (A-wt)	125dB @1kHz	128dB @1kHz
ダイナミック・レンジ @1kHz (A-wt)	125dB @1kHz	128dB @1kHz
周波数応答	20Hz-20kHz(±0.1dB) 20Hz-40kHz(±0.3dB)	20Hz-20kHz(±0.1dB) 20Hz-40kHz(±0.3dB)
出力振幅	2.3Vpp @G=L, 11.5Vpp @G=H 0.8Vrms @G=L, 4.0Vrms @G=H 0.3dBu @G=L, 14.4dBu @G=H	4.6Vpp @G=L, 23.0Vpp @G=H 1.6Vrms @G=L, 8.1Vrms @G=H 6.3dBu @G=L, 20.4dBu @G=H
ノイズフロア (A-wt)	<0.9uVrms @G=L <1.9uVrms @G=H	<1.2uVrms @G=L <3.3uVrms @G=H
チャンネルクロストーク	-102dB @1kHz	-140dB @1kHz
ゲイン	G=L -1.6dB(Vrms/FS) G=H 12.4dB(Vrms/FS)	G=L 4.4dB(Vrms/FS) G=H 18.4dB(Vrms/FS)
チャネルバランス	0.3 dB	0.3 dB
出力インピーダンス	<1Ω	<2Ω
出力電力	800mW x 2 @16Ω THD+N<1% 510mW x 2 @32Ω THD+N<1% 260mW x 2 @64Ω THD+N<1% 58mW x 2 @300Ω THD+N<1% 29mW x 2 @600Ω THD+N<1%	730mW x 2 @16Ω THD+N<1% 1000mW x 2 @32Ω THD+N<1% 1000mW x 2 @64Ω THD+N<1% 230mW x 2 @300Ω THD+N<1% 115mW x 2 @600Ω THD+N<1%
適応インピーダンス	>8Ω	>8Ω

注：上記のデータは、DC 5V条件下でTOPPING Laboratoryにて測定した結果です。